



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 鴻池運輸株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9025 URL <https://www.konoike.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 鴻池 忠彦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部本部長 (氏名) 大淵 和夫 TEL 06-6227-4600
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	70,848	△8.7	797	△76.4	1,417	△59.0	993	△56.3
2020年3月期第1四半期	77,635	8.0	3,378	2.2	3,453	1.2	2,274	9.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,488百万円 (21.7%) 2020年3月期第1四半期 2,044百万円 (9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	18.93	18.84
2020年3月期第1四半期	41.11	40.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	225,922	101,107	43.3	1,865.14
2020年3月期	223,499	99,572	43.0	1,833.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 97,907百万円 2020年3月期 96,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	9.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

なお、2021年3月期の期末配当予想額については、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	56,952,442株	2020年3月期	56,952,442株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,459,211株	2020年3月期	4,481,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	52,492,737株	2020年3月期1Q	55,332,316株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、決算発表後、速やかに当社Webサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであり、その達成を保証するものではありません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の世界的な拡大に伴い、各国の経済活動が強く制限されました。我が国経済も緊急事態宣言による外出自粛要請により停滞し、景気の減速傾向が一層強まる結果となりました。緊急事態宣言解除後も回復に向けた動きは鈍く、将来の見通しについても極めて不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、鉄鋼需要減少に伴う製鉄業界の減産対応による鉄鋼関連分野への影響が顕著になったことに加え、世界的な旅客便減便による空港関連分野への影響が深刻となりました。

本年は、現行の中期経営計画で進めてきた「確固たる基盤づくり」の3年目ですが、現下の厳しい経営環境に鑑み、コスト削減や資本効率の向上を目的とした経営改革の取組みを一段と強化しております。具体的には、各事業を基盤事業、収益改善事業、成長事業と3つの事業群に分類し、各事業群の課題に応じた取組みを進めております。そのなかでも、特に、収益改善事業については、「投下資本利益率（ROIC）重視の経営」の徹底を図り、場合によっては撤退や売却をも視野に入れた収益改善計画の策定を進めております。また、同時に投資基準をより厳格化し、資本効率の高い事業経営を構築して参ります。

当第1四半期連結累計期間における経営成績については、鉄鋼減産影響及び旅客便減便影響を受け、売上高は708億48百万円（前年同期比8.7%減）となり、利益面につきましては、営業利益は7億97百万円（同76.4%減）、経常利益は14億17百万円（同59.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億93百万円（同56.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。セグメント利益は当社の管理部門に係る一般管理費等の全社費用控除前の営業利益であります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントを構成する事業本部に所属する営業所の一部について、主要顧客並びに事業内容の変化に対応するため、所属する事業本部を変更いたしました。そのため、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を当該変更後の数値で比較しております。

①複合ソリューション事業

鉄鋼関連分野での高炉バンキング（一時的な休止）を含めた減産により、構内請負業務が減少しております。また、COVID-19影響継続による世界的な旅客便減少により、空港関連分野でのチェックインカウンター業務やグランドハンドリング業務等が大幅に減少し、売上高は484億98百万円（前年同期比10.4%減）となりました。利益につきましても、食品関連分野における巣ごもり消費需要増や単価改定寄与はありましたが、鉄鋼関連分野での減産影響、空港関連分野での業務大幅減少の影響や、輸入自動車整備業務での取扱台数減等をカバーできず、14億92百万円（同62.9%減）となりました。

②国内物流事業

COVID-19影響継続による店舗の臨時休業やイベントの中止など経済活動の停滞に伴い物流取扱量が減少しております。また、大型テーマパーク休園による関連業務減少等により、売上高は105億91百万円（前年同期比9.9%減）となりました。利益につきましても、物流取扱量の減少等により、4億45百万円（同33.0%減）となりました。

③国際物流事業

COVID-19影響による輸出入貨物取扱量減及びインド貨車輸送取扱量減等により、売上高は117億58百万円（前年同期比0.0%減）となりました。利益につきましては、航空便数減少による航空貨物運賃単価上昇等により、3億25百万円（同54.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①総資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は2,259億22百万円であり、前連結会計年度末に比べ24億23百万円増加しました。

②流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は891億57百万円であり、前連結会計年度末に比べ6億78百万円減少しました。主な要因は、その他流動資産が7億84百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が14億36百万円減少したこと、現金及び預金が1億25百万円減少したこと等によるものです。

③固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,367億65百万円であり、前連結会計年度末に比べ31億2百万円増加しました。主な要因は、建物及び構築物が16億84百万円増加したこと、投資有価証券が14億16百万円増加したこと、機械装置及び運搬具が5億35百万円増加したこと、建設仮勘定が11億38百万円減少したこと等によるものです。

④流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は563億39百万円であり、前連結会計年度末に比べ34億94百万円増加しました。主な要因は、未払費用が26億9百万円増加したこと、その他流動負債が13億87百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が9億12百万円減少したこと等によるものです。

⑤固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は684億75百万円であり、前連結会計年度末に比べ26億6百万円減少しました。主な要因は、退職給付に係る負債が11億23百万円減少したこと、リース債務が10億35百万円減少したこと、長期借入金が3億29百万円減少したこと等によるものです。

⑥純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,011億7百万円であり、前連結会計年度末に比べ15億35百万円増加しました。主な要因は、退職給付に係る調整累計額が10億57百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が9億84百万円増加したこと、為替換算調整勘定が3億97百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、未定といたします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,470	29,345
受取手形及び売掛金	55,680	54,243
未成工事支出金	107	151
貯蔵品	1,631	1,677
その他	3,024	3,808
貸倒引当金	△78	△70
流動資産合計	89,835	89,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	111,930	114,116
減価償却累計額	△70,915	△71,416
建物及び構築物(純額)	41,015	42,699
機械装置及び運搬具	48,005	48,635
減価償却累計額	△39,399	△39,494
機械装置及び運搬具(純額)	8,606	9,141
土地	42,577	42,727
リース資産	7,002	7,119
減価償却累計額	△3,165	△3,342
リース資産(純額)	3,837	3,777
建設仮勘定	3,602	2,464
その他	8,887	8,907
減価償却累計額	△7,252	△7,314
その他(純額)	1,634	1,592
有形固定資産合計	101,272	102,403
無形固定資産		
のれん	2,417	2,355
その他	3,973	4,110
無形固定資産合計	6,390	6,465
投資その他の資産		
投資有価証券	11,704	13,120
長期貸付金	497	489
繰延税金資産	6,752	7,212
退職給付に係る資産	171	188
その他	7,184	7,195
貸倒引当金	△177	△177
投資損失引当金	△132	△132
投資その他の資産合計	26,000	27,896
固定資産合計	133,663	136,765
資産合計	223,499	225,922

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,491	12,579
短期借入金	9,116	8,535
1年内返済予定の長期借入金	2,528	2,725
未払費用	11,838	14,447
未払法人税等	2,639	3,433
その他	13,229	14,617
流動負債合計	52,845	56,339
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	9,172	8,843
リース債務	3,025	1,990
繰延税金負債	564	521
再評価に係る繰延税金負債	1,444	1,444
退職給付に係る負債	22,666	21,542
役員退任慰労金引当金	144	132
長期未払金	1,626	1,608
その他	2,435	2,392
固定負債合計	71,081	68,475
負債合計	123,926	124,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,723	1,723
資本剰余金	1,908	1,908
利益剰余金	103,972	104,015
自己株式	△7,324	△7,288
株主資本合計	100,278	100,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,294	4,279
土地再評価差額金	△4,688	△4,688
為替換算調整勘定	237	△160
退職給付に係る調整累計額	△2,939	△1,882
その他の包括利益累計額合計	△4,096	△2,452
新株予約権	397	366
非支配株主持分	2,992	2,834
純資産合計	99,572	101,107
負債純資産合計	223,499	225,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	77,635	70,848
売上原価	70,316	66,363
売上総利益	7,318	4,485
販売費及び一般管理費	3,939	3,687
営業利益	3,378	797
営業外収益		
受取利息	14	29
受取配当金	122	89
受取賃貸料	34	36
雇用調整助成金	—	526
その他	64	125
営業外収益合計	236	806
営業外費用		
支払利息	52	52
持分法による投資損失	—	56
投資有価証券評価損	66	0
為替差損	15	41
その他	27	36
営業外費用合計	161	186
経常利益	3,453	1,417
特別利益		
固定資産売却益	250	28
その他	4	—
特別利益合計	254	28
特別損失		
固定資産除売却損	21	17
投資有価証券評価損	2	—
その他	—	0
特別損失合計	23	17
税金等調整前四半期純利益	3,684	1,428
法人税、住民税及び事業税	2,396	1,902
法人税等調整額	△1,038	△1,396
法人税等合計	1,358	506
四半期純利益	2,325	922
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	50	△71
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,274	993

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,325	922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△482	984
為替換算調整勘定	73	△464
退職給付に係る調整額	128	1,058
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△11
その他の包括利益合計	△280	1,566
四半期包括利益	2,044	2,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,990	2,638
非支配株主に係る四半期包括利益	53	△149

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020年4月7日、政府対策本部による緊急事態宣言が発令されました。

複合ソリューション事業における空港関連分野におきましては、世界各国の入国制限措置や国内の外出自粛等の影響で国内外の航空需要が急激に減退しております。

当第1四半期連結会計期間において、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りは、2020年7月28日に更新されたIATA(国際航空運送協会)の見通し等も踏まえ、このような状況が2021年3月期を通して継続し、その後は2025年3月期にかけて緩やかに需要が回復していくと仮定を変更しております。

なお、この仮定は不確定要素が多く、上述の仮定が見込まれなくなった場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	複合ソリューション事業	国内物流事業	国際物流事業	合計				
売上高								
外部顧客への売上高	54,114	11,758	11,762	77,635	—	77,635	—	77,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	196	407	38	642	360	1,002	△1,002	—
計	54,311	12,165	11,800	78,277	360	78,637	△1,002	77,635
セグメント利益	4,018	664	210	4,893	19	4,912	△1,534	3,378

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループのソフトウェア開発及び保守業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,534百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,527百万円が含まれております。全社費用は、当社の本社総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	複合ソリュー ション事業	国内物流事業	国際物流事業	合計				
売上高								
外部顧客への 売上高	48,498	10,591	11,758	70,848	—	70,848	—	70,848
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	177	353	25	556	250	806	△806	—
計	48,676	10,945	11,783	71,404	250	71,654	△806	70,848
セグメント利益	1,492	445	325	2,264	9	2,273	△1,476	797

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループのソフトウェア開発及び保守業務等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,476百万円には、セグメント間取引消去△46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,429百万円が含まれております。全社費用は、当社の本社総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
(報告セグメントの変更)

当第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントを構成する事業本部に所属する営業所の一部について、主要顧客ならびに事業内容の変化に対応するため、所属する事業本部を変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、これらの変更を反映し作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

社債の発行

当社グループは、2020年5月20日開催の当社取締役会における社債発行包括決議に基づき、2020年6月26日に発行条件を決定し、無担保社債(社債間限定同順位特約付)を発行いたしました。

概要は以下のとおりであります。

第5回無担保社債(社債間限定同順位特約付)

- (1) 社債の総額 5,000百万円
- (2) 発行価格 各社債の金額100円につき金100円
- (3) 払込期日 2020年7月2日
- (4) 利率 年0.270%
- (5) 償還期限 2025年6月30日(満期一括償還)
- (6) 資金使途 運転資金、設備投資資金

第6回無担保社債(社債間限定同順位特約付)

- (1) 社債の総額 10,000百万円
- (2) 発行価格 各社債の金額100円につき金100円
- (3) 払込期日 2020年7月2日
- (4) 利率 年0.520%
- (5) 償還期限 2030年6月28日(満期一括償還)
- (6) 資金使途 運転資金、設備投資資金